

## 第6回南九州市乗用型茶摘採競技大会 開催

南九州市茶業振興会・茶園機械化研究会は7月8日、第6回南九州市乗用型茶摘採競技大会を開催しました。生産者・行政・JA関係者など約130名が参加、乗用型摘採機のコンテナ型・袋型部門に10組20名がエントリーし、刈跡・作業時間・運転操作など合計100点で審査を行いました。大会は国内最大級の産地である南九州市の茶業をPRし、原料を効率的に摘採する機械操作技術の向上と機械化の普及を目的に毎年開いています。コンテナ型で(有)ホクト、袋型で(有)粟ヶ窪製茶が最優秀技術賞を受賞しました。(有)粟ヶ窪製茶の粟ヶ窪大輔さん(36)は「初めて大会に参加したが、緊張せずいつもの作業が出来た。今後も安全に作業をすることを心がけたい。」と話しました。大会副会長の瀬川三郎南九州市茶業振興会副会長は「毎年、非常に高いレベルでの採点となっている。茶情勢は厳しいが、生産者には良い茶を低コストで生産して頂きたい。これから3番茶の摘採が始まるところもあるが、安全に作業して頂きたい。」と話しました。大会受賞者は以下の通りです。(敬称略)



コンテナ型摘採機部門	袋型摘採機部門
<ul style="list-style-type: none"> <li>・最優秀技術賞 (有)ホクト(知覧支部)</li> <li>・優秀技術賞 (有)後山製茶(颯娃支部)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最優秀技術賞 (有)粟ヶ窪製茶(颯娃支部)</li> <li>・優秀技術賞 (有)清香園(颯娃支部)</li> </ul>

